



石川県・健康づくり優良企業表彰

niigata.lg.jp/search/) 等で広く発信した。

石川県では、働きざかり世代の生活習慣病対策の推進のため、積極的に健康づくりに取り組んでいる5企業を健康づくり優良企業として知事表彰した。平成23年度に表彰された企業は、健診結果の見方や、バイキング形式で実際にメニューを選び、食生活をチェックする教室を開催したり、有所見率低下に向けて、従業員への歩数計配布や食堂でのカロリー・塩分等に関するパネル展示等を行った。

また、保健所や市町村保健センターにおい

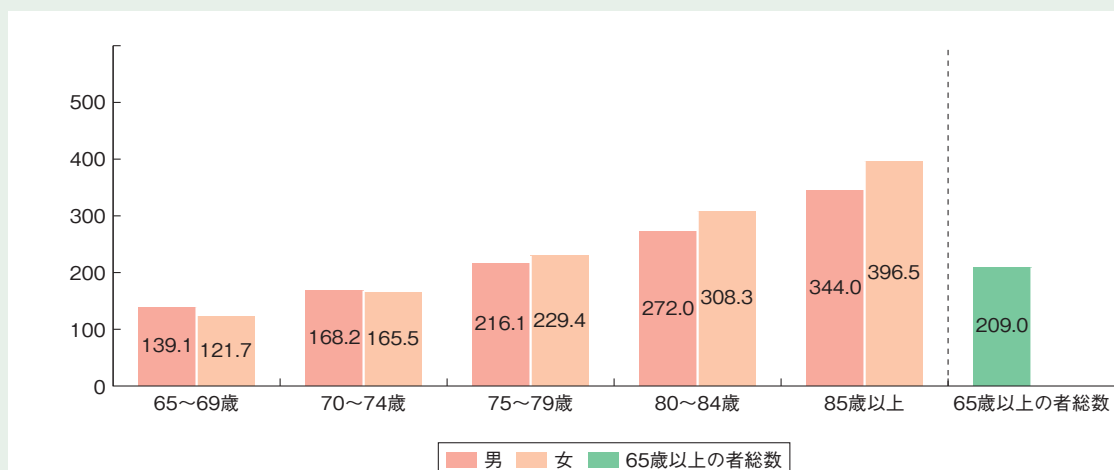
ては、地域の健康増進計画に基づき健康づくりに関する事業が行われており、管理栄養士等による栄養指導や運動指導が行われており、平成22年度に保健所及び市町村で栄養指導を受けた者は5,100,137人、うち妊産婦は307,969人、乳幼児は2,959,182人<sup>8</sup>である（平成22年度地域保健・健康増進事業報告）。

## 2 高齢者や男性への取組

高齢者の健康状態を見てみると、日常生活に影響がある者が5分の1であり、年齢が高いほど上昇する（図表-55）。また、男性については、女性に比べて食育への関心が低い（図表-56）。

そのため、第2次食育推進基本計画では、高齢者や男性への食育推進が新たに盛り込まれ、高齢者や男性の食生活の自活能力を高める取組が地域で行われている。

図表-55 65歳以上の高齢者の日常生活に影響のある者率（人口千対）



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成22年）

8 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村、宮城県のうち仙台市以外の保健所及び市町村、福島県の一部の市町村が含まれていない。

**事例 男性も厨房に！～男性だけのヘルシークッキング～**

兵庫県上郡町

男性が食への関心を高め、年齢に応じた食事量やバランスのとれた食事、基本的な調理ができ、自ら健康に暮らしていくことができるようになることを目的に、健康教育を含めた男性だけの料理教室を年5回行っている。

料理教室では、調理の基本、基礎栄養学、食事のバランスなどについての講話や調理実習の実施と併せて、実際に店舗に行って食材を購入する体験もとり入れている。

参加者には、家庭で食事づくりや後片付けにも積極的に参加するようになった、健康に配慮して食事をするようになったなどの変化も見られた。また、参加者が自主的にOB会を結成し、調理実習を行ったり、町のイベントの際に試食を作って来場者へ配布して町民（特に男性）の食への関心を高めるような啓発を行うなど、教室外の実践へと広がってきている。

引き続き、積極的に男性対象の料理教室を実施し、男性の食事づくりへの参加を推進していきたい。

**事例 男子厨房に入ります！！**

愛知県津島市津島男の食菜同好会

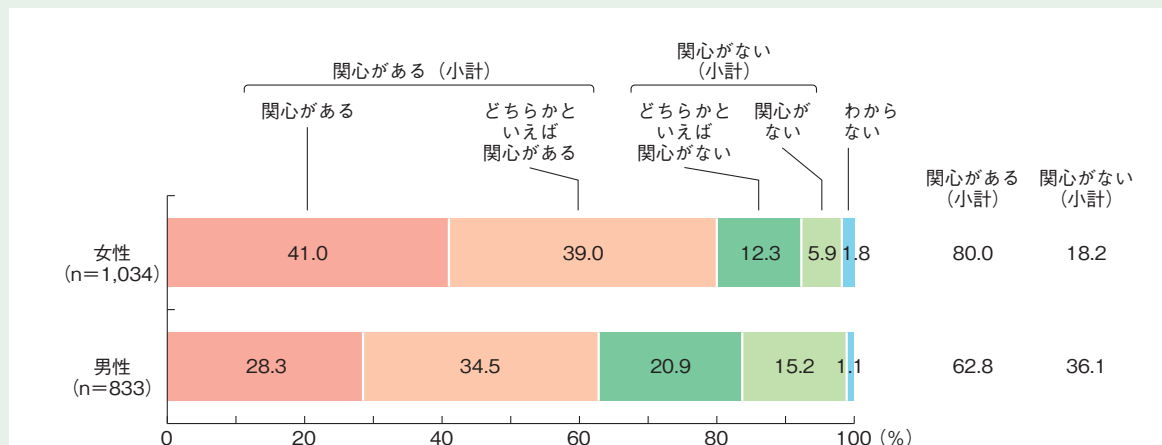
津島男の食菜同好会は、10年前に実施した市の保健事業「男子厨房に入ろう」の受講者で結成された会員は21名の同好会で、男性の食の自立を目的にしている。毎月第3月曜日に公民館の調理室で活動しており、食材の購入、調理を行い、交流を図っている。

当初は講師が食材の購入、仕分けを行っていたが、自分の食べる量や味付けを考えて食材の計量ができるようになった今では、食材の用意も会員が行っている。一人暮らしの会員も多く、調理実習の献立を家庭で実践しており、自身や家族の体調不良以外は退会することはない、交流の場となっている。さらに男性の組織力も加わり10年間継続して取組を行っている。

老人クラブが開催する料理教室で会員募集を図っており、今後とも同好会の取組を広げていきたい。



図表-56 食育への関心度



資料：内閣府「食育に関する意識調査」（平成23年12月）

### ③ 医学教育等における食育推進

すべての医学生が卒業までに最低限修得すべき教育内容を定めた「医学教育モデル・コア・カリキュラム」においては、食生活と疾病の関連等に関して、〈1〉予防医学を概説できる、〈2〉生活習慣に関連した疾病の種類、病態と予防治療について学ぶ、などを学習目標として設定しており、これらに基づき、各大学において医学教育等の改善・充実に取り組んでいる。

## 第5節 歯科保健活動における食育

### （１）8020運動の推進

すべての国民が健やかで豊かな生活を過ごすため、80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目的とした「8020（ハチマル・ニイマル）運動」の一環として、食生活を支える口腔機能の維持などについての指導が推進

されてきた。

8020達成者の割合は、6年に1度実施されている歯科疾患実態調査の結果によると、昭和62年の7.0%から平成17年には21.1%へと上昇している。

厚生労働省では、8020運動も含めた歯科保健活動の推進において、食育を推進してきている。具体的には、国民の歯科疾患予防など歯の健康の保持を推進させるための「8020運動推進特別事業」で都道府県の取組の支援を行っており、各都道府県でも、同事業を活用し、地域の実情を踏まえた「8020運動」に関わる事業が展開されている。その中で、噛み応えのある料理などを用い、噛むことの大切さの教育など、食育に関わる事業も実施されている。

### （２）噛ミング30を目指して

平成21年7月13日には、厚生労働省において開催された「歯科保健と食育の在り方に関する検討会」で、それまでの議論を踏まえ、「歯科保健と食育の在り方に関する検討会報告書